

## P9. タイプの異なる2つの大規模地すべり事例

山本 和彦：(株) ナイバ〇露口 耕治：(株) 四電技術コンサルタント

三波川結晶片岩地帯において、旧河道を閉塞して形成されたタイプの異なる2つの地すべりについて紹介する。1つは、谷型の緩斜面に分布する土石流起源の崩積土が滑動する崩積土すべりである。もう1つは、古い大規模岩盤すべりの先端部が滑動する岩盤すべりである。いずれも移動土塊の下位に旧河川堆積物が確認された。

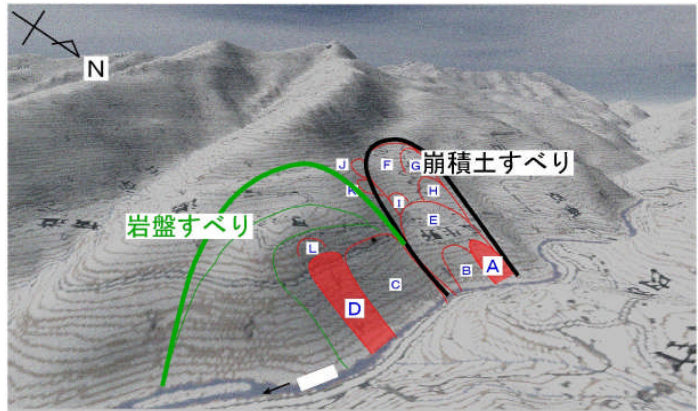


図-1 地すべり地形鳥瞰図

### 1. 崩積土すべり

【地すべり諸元】

- ①規模：幅 80m、長さ 170m、厚さ 20m
- ②移動土塊：旧河床堆積物の上位に堆積した崩積土（土石流堆積物）
- ③対策工：排水ボーリング
- ④変位速度：対策前 1mm/月、対策後 0.3mm/月

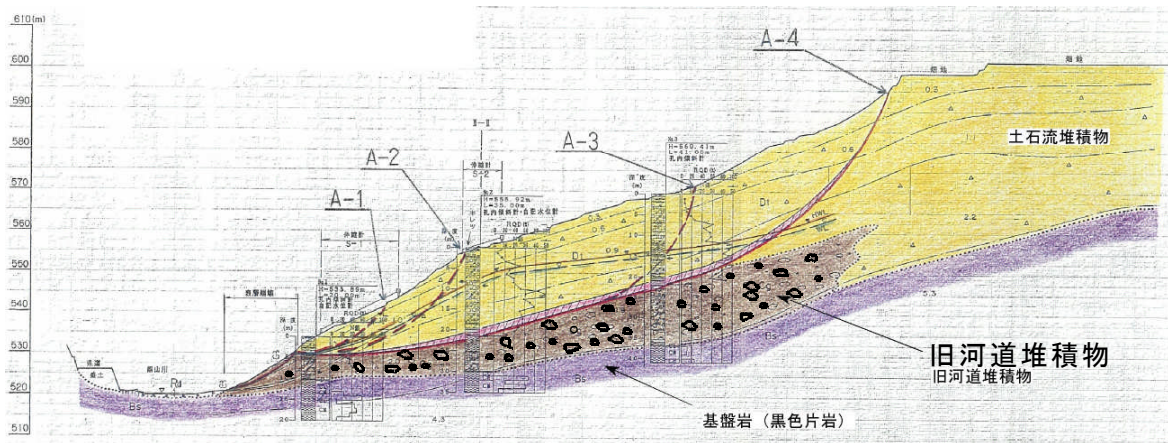


図-2 地質断面図 (Aブロック)

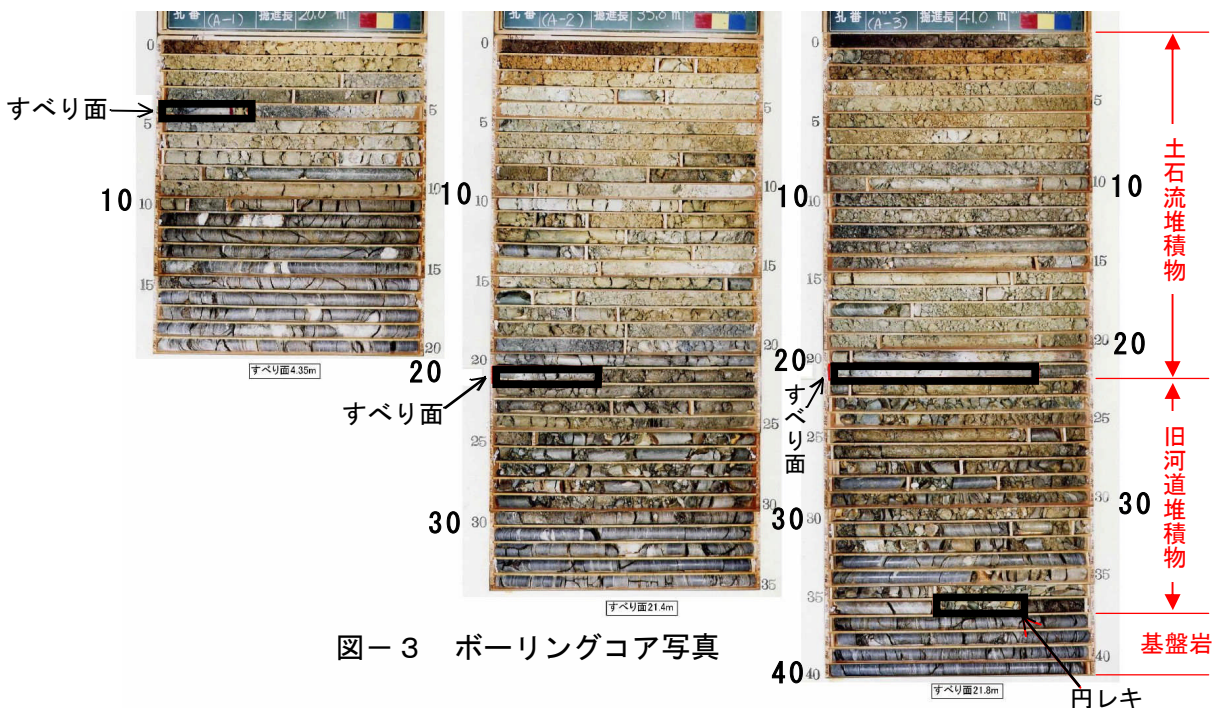


図-3 ボーリングコア写真

## 2. 岩盤すべり

### 【地すべり諸元】

- ①規模：幅 90m、長さ 170m、厚さ 40m
- ②移動土塊：旧移動岩盤
- ③対策工：排水ボーリング
- ④変位速度：対策前 4mm/月、対策後 2mm/月

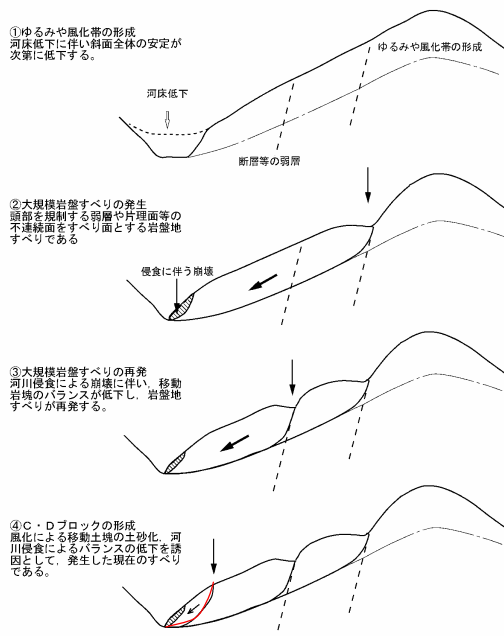


図-4 岩盤すべり形成模式図

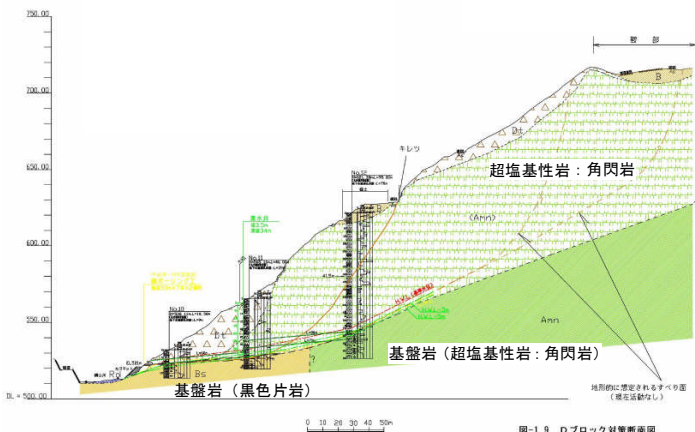


図-5 地質断面図 (Dブロック)

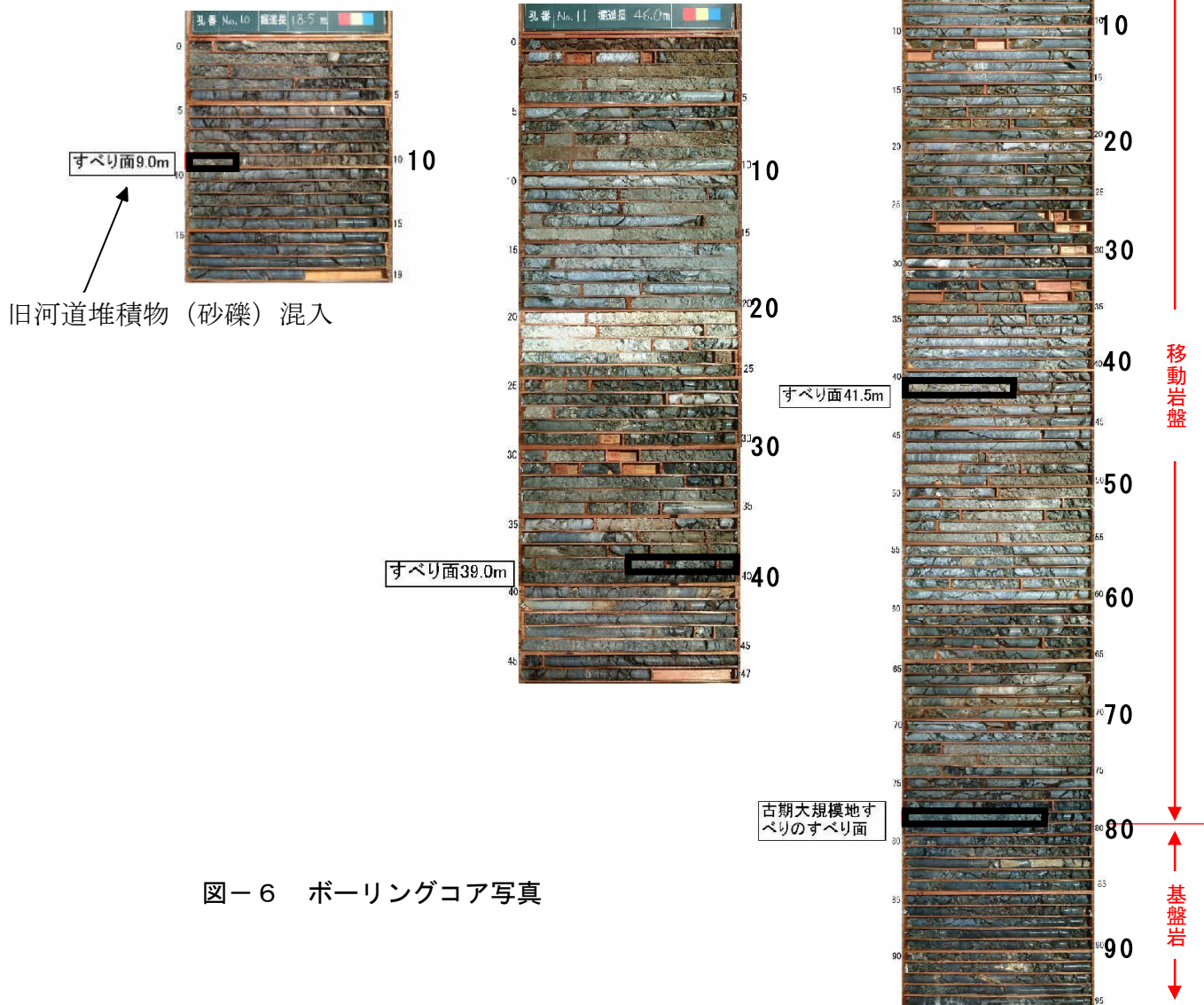


図-6 ボーリングコア写真